

岩屋中だより

令和5年6月30日 NO6

発行 長崎市立岩屋中学校

文責：校長 川口 猛

努力して手に入れた宝物＝磨けば磨くほど輝く宝石

県中総体出場おめでとうございます。

長崎市中学校総合体育大会水泳競技、空手道競技が終了し、全ての競技が終わりました。本校からは、陸上競技、水泳競技、空手道競技から合計4名が県大会に出場します。

○陸上競技

低学年男子100mH 1名

共通女子砲丸投 1名

○水泳競技

共通男子100m自由形 1名

○空手道競技

形(かた) 1名

県大会に出場する皆さんは、あと3週間ほど準備期間があります。心・技・体に磨きをかけ、次のラウンドへ進めるように頑張ってください。応援しています。

さて、激励会(リモート)でも話しましたが、どのような分野においても、頑張ってきたことは、その人にとって一生の財産・宝物になると私は思っています。頑張って手に入れたその財産・宝物を大切にしてほしいと思います。その財産・宝物は、勝ったから、負けたからという結果で値打ちが変わるものではありません。それぞれが、頑張ったという自負があれば、それは次のステップへの糧になります。今後、生きていく中で、その財産・宝物をエネルギーにして生活してほしいと思います。

さて、努力して手に入れた財産・宝物を宝石としましょう。宝石は、もともと単なる岩石です。宝石は、磨き続けてこそ、輝きます。皆さんが手に入れた「財産・宝物＝宝石」は、これから皆さんの努力によって、磨かれ、輝きを増すと思います。磨き続けて、光り輝く宝石にしていきたいでしょう。

これからの努力 = 宝石の原石を磨く



輝く



人生の充実

教育週間の実施にあたって

現在、長崎っ子の心を見つめる教育週間です。本校も、この教育週間の中で、命の大切さや自分をそして他人を大切にする心を学ぶほか、情報モラル学習や平和学習など、自分自身や学校生活を見つめる様々な学習を進めています。そして、7月1日(土)は、主曜授業を実施し、「命」の講演会を行います。長崎いのちを大切にす会(元NPO法人おなかの赤ちゃんヘルプライン)の吉松真理子先生をお招きして、命の大切さについての講演を行います。私も、何度か、吉松先生のお話を聴く機会がありましたが、涙が出てくるお話です。参観予定の保護者の皆様も、きっと深い学びを得ることができるものと思っています。

大雨のため土曜授業が中止となったので、取り消し線をつけています。

写真で紹介 6月の様子 「孔子の教え」

全校生徒の皆さんは、社会科で、春秋戦国時代の「孔子」を学んだと思います。紀元前の中国の思想家で、人間が生きていく上での道徳心や人生観・価値観などを説いた有名な人物です。中国の歴史に大きな影響を与えるとともに、その教えは、儒教として今も生き続いています。国語科においては、漢文を学習する単元があり、孔子の教え（論語）をクロムブックで調べ、そこで学んだことをメッセージとして表現しています。素晴らしい作品ばかりです。



多くの作品の中から、この教育週間にもつながる内容の作品がありましたので、紹介します。

己の欲せざる所は人に施すことなかれ

自分が嫌だと思うことは人には決してしてはいけません という意味です。

という作品がありました。まさに、そのとおりですね。現代にも通用する孔子の教えをぜひ学んでほしいと思います。掲示物の前で足を止めてぜひ見てください。



6月15日、第3学年において、ウクライナから避難されている学生さんをお招きしての講話を行いました。実際に起こっているウクライナとロシアとの紛争の中で経験したことや、感じたこと、今の思いなどを知ることができました。有意義な時間であるとともに、世界の平和の大切さを改めて感じた時間でした。